

(議員用)・会派用)

政務活動費収支報告書

2026年 4 月 30 日

八尾市議会議員

竹田 孝吏 様

議員名又は会派名とその代表者名

西川あり

条例第13条第1項の規定により、令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

(単位:円)

項 目	金 額
政 務 活 動 費	840,000

2 支出

(単位:円)

項 目	金 額	
支 出	調査研究・研修費	150,230
	要請・陳情活動費	
	資料作成費	
	資料購入費	
	広報費	
	広聴費	
	日常活動費	
	人件費	
	事務所費	
	事務費	
合 計	150,230	

3 収入支出差引残額(返還額)

689,770 円

注) 支出が収入を上回る場合は、残額欄には0円と記載のこと。

様式第17号（第9条関係）

政務活動費における活動報告書

2025年度の政務活動の内容は、収支報告書のとおりであります。そのうち、主要な政務活動内容の概要については、別紙のとおりでありますので条例第14条第1項及び条例施行規程第9条第1項の規定に基づき簡潔に報告いたします。

■令和7年8月27日・28日・29日の第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌に参加致しました。また旭川市・東川町・富良野市を視察しました。

■出張財政セミナー「森教授の財政アウトリーチセミナー」
八尾市の財政状況について 森裕之 立命館大学政策科学部教授の講義を学ぶ

議員名又は会派名とその代表者名

西川あり

「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」全国市議会議長会研究フォーラムに参加。基調講演「主権を預かる誇りと責任」に伊吹 文明 氏・パネルディスカッション「多様な人材の参加促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」に辻 陽 氏（近畿大学法学部教授）・牧原 出 氏（東京大学教授）・白石 洋一 氏（読売新聞東京本社政治部次長）・山下 節子 氏（山口県宇部市議会議長）・長内 直也 氏（北海道札幌市議会議長）

地方議会・議員に対する無関心、広がる不信。それからくる投票率の低下。また地方によれば無投票当選者、定員割れなどが増えている状況など課題が示された。議員の男女比率においても未だ女性の政治参画に課題があるなど多くの問題解決に向けて課題討議もあり、いくつかは本市においても取り組んでみたい発表があった。市民とともに課題について対話する意見交換会、子どもたちと共につくる「子どもまちづくり体験」など主権者教育の一貫になる取り組みなど、子どもたちに興味を持ってもらえる施策はぜひ本市でも対応できればと思った。議員自身の資質の向上に向けたハラスメント条例の制定や、人口減に向けたオンライン議会なども現実味を帯びてきていると感じた。

見学で立ち寄った北海道旧赤レンガ庁舎には北海道内の市町村全域の地産名産や大画面での映像、アイヌの課題や北方領土の問題など展示と語り部映像など、みせるばやおの利用の広がりができるのではと考えられた。

北海道、旭川市・東川町・富良野市を視察。

中でも東川町での視察は記憶に残る。旭川市から車で30分。旭川空港から10分と言う立地であるが、一度合併の話があり、多くの住民の意見で、町の存続に向けた取り組みが行われた。大雪山国立公園の一部が町の区域にあるほどの豊富な森林資源と自然の景観が観光資源に、写真のまちとしてまち以外の世界中の人々が触れ合える東川ファンを作り、巻き込んでのまちづくりで人口が増え続ける町になったそうだ。豊かな水を生かした上水道がないまち、全戸地下水で生活をしている。本市に生かすところが見えないくらい美しい景観の町であったが、「東川町」と言う名前を残したい強い思いが官民一体となつての再生へのエネルギーが生まれたとしたら、本市に移り住んでも住みたいと思ってもらえるまちづくりを世代を超えて多くの市民と対話し続ける機会を持ちたいと思った。

八尾市の財政状況を歳入歳出の中で、八尾市の現状を令和5年6年など実際の表をもとに課題や見方について勉強した。財政と歳出（目的別歳出と性質別歳出など）の原則として財政全体の原則とは公平性が重要で、住民のニーズに合った事業を行っている、かかる費用が少ないかどうかなど、新たに予算決算委員会での分析や注目すべき点を学んだ。

本市が自由に使える歳入確保のためにも、どのように本市に住み続けたい市民を増やすかということは、本市が何を大事にまちづくりをしていくことなど財政を学ぶことと、市の今後を考え続けることは両輪であることを再確認もできた学びであった。

※報告書は、A4の原稿用紙3枚以内（会派にあっては、所属議員数に3を乗じた枚数以内）で作成してください。